



# 三気の門

## PORTAL SANKI

NO. 2

2026.4.15

文責：佐藤正一

## 寛容なチーターは長生きする

～寛容な心は「学び」と「経験」で育つ～

入学式にこんな話をしました。

「オスのチーターの寿命はわずか3年だそうです。しかし、4倍の12年以上生きているチーターがいることが分かりました。そのチーターの名前は『オルニョク』。研究者は、オルニョクが長生きできている理由を彼には『寛容さ』があったからだ」と結論しました。

「寛容さ」とは、心が広く、他人の欠点や過ち、異なる考え方や立場を厳しく責めず、受け入れる態度や能力のことです。オルニョクはチーターには珍しく、5頭でチームを組んで狩りをしていました。（これも寛容さがあったからできたこと）

オルニョクはその中でも一番弱くて下っ端のチーター。不器用なので狩りでよく失敗し、仲間の足を引っ張るたびに仲間にも怒られているくらいです。怒られてもオルニョクは争わず、謝罪をして許してもらいます。喧嘩をしてけがをしまえば、それだけで生き延びることができなくなります。彼はけがをした仲間が群れからはぐれると、迎えにいくような優しさももっていました。

時が経って、仲間が死んでしまい、1頭となったオルニョクは、今度は木陰に隠れて待ち伏せするという狩りで獲物をとるようになりました。年老いて走れなくなったので、そのような狩りの方法を編み出したのです。こんなことをするチーターはいません。さらにある時は獲物をハイエナと仲良く分け合っている姿も目撃されました。

争わないということは、生き延びるために必要な能力なのです。人間も「寛容さ」がある人は、社会で成功しやすいです。みなさんは中学校で「寛容さ」を磨いてください。以下略。

中学校はただ単に勉強を教えるだけではありません。（それだと塾になってしまいます）社会で成功するためには、IQ（知能指数）ではなくてEQ（心の知能指数）が試されます。学校生活の様々な経験を通してEQは鍛えられます。未来を切り拓くために、EQの高い生徒を育てていきます。

